

「平成27年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成28年 4月 14日

仕事の内容	小中学校卒業記念支給事業				
担当部署・課長名	学校教育	課	庶務	係	課長名 岩本 尚史

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 学校教育の充実

(総合計画書 31 ページ)

予算名	款 10	教育費	項 2	小・中学校費	目 1	学校管理費	事業 1	小学校運営費・中学校運営費	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 公立小・中学校の卒業生					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) → 公立小・中学校の卒業生の児童・生徒			
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 小・中学校の全課程を修了したことを祝うとともに、けじめの意識をもたせる。					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) → けじめを実感できた人数/全生徒数			
	③ そのために何をしましたか。 市内小・中学校の義務教育修了を記念して、卒業生に対して記念品を授与する。 小学生：ステンレスボトル 中学生：真空ステンレス携帯マグカップ					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) → 公立小・中学校の卒業生の児童・生徒			

2 指標の推移			単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度目標	平成29年度目標
	対象指標	①の数値	人	1,503	1,507	1,538		
	成果指標	②の数値		不明	不明	不明		
	目 標	②の目標値						
		目標値設定の考え方						
	活動指標	③の数値	人	1,503	1,507	1,538		

3 経費	事業費		円	1,176,005	1,530,808	1,497,096	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,233,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成26年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	1,176,005	1,530,808	1,497,096	
		特定財源	円			0	
		(うち受益者負担)	円			0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1	
		所要人数(再任用)	人				
事業費+人件費		円	2,010,005	2,364,808	2,320,396		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 ・義務教育の修了の節目を祝うとともに、新たな生活への意欲をもたせること。	
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 特になし	

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成27年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 特になし	
-------------	--	--

仕 事 の 内 容	小中学校卒業記念支給事業					
担当部署・課長名	学校教育	課	庶務	係	課長名	岩本 尚史

6 市民協働	(1) 市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答)		
	<table border="1"> <tr> <td>取り組みは無い</td> <td>取組手法</td> <td> 記入例：⑧（市民がボランティアで外部評価委員として参加） 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換 ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ） </td> </tr> </table>	取り組みは無い	取組手法
取り組みは無い	取組手法	記入例：⑧（市民がボランティアで外部評価委員として参加） 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換 ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
(2) 平成28年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。			
特になし。			
7 課 題	この仕事を振り返り、課題を記入してください。		
	事業の趣旨のあった利用価値のある物を、安価で購入できるようにする。		
8 今 後 の 方 向 性	(1) 仕事の方向性（「7 課題」を踏まえた具体的な改革・改善案など）		
	特になし。		
	(2) 上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的に記入してください。		
	特になし。		
(3) 改革・改善案による期待成果			
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成果	成果を維持する。	経費	仕事の経費は維持する。